

おはしたちがつくる

地域支えあい

協議体

高齢者の健康・生きがい・困りごとを支えたい



GOAL

誰もが年齢を重ねても
健康で幸せに、
地域で孤立することなく
暮らせるまちづくり

地域まるごと
一つの船に乗せて
出発です
出発の準備中の
ところも
もう動き出した
ところも
良い船旅と
なりますように



ちいきれ

あーだこーだの巻



第2号

南足柄市社会福祉協議会(令和7年6月発行)

協議体は南足柄市に在住・在勤の誰もが対象です。

「身近な困りごとがある」

「活動に興味がある」

「もっと知りたい」など、

あなたのご意見やご感想をお聞かせください。

TELやFAX、Googleフォームをご利用ください。

南足柄市社会福祉協議会

地域福祉班(ボランティアセンター)

TEL 0465-72-2299

FAX 0465-74-3276

あなたの声を
聞かせてください

ご意見・ご感想用
Googleフォーム



お知らせ

社協のホームページに
協議体のページができました。
各地域での協議体活動の様子
や予定をお知らせします。
またほっと一息つけるように
四コマ漫画も掲載しています
ので、併せてご覧ください。



minamisyakyo.or.jp/

この冊子を作った人

自分たちの手で
自分たちの未来を
作ろうと手を挙げた
有志です



私たちと一緒に紙面づくりをしませんか?
できることをできる範囲でOKです。
興味のある方は社協までご連絡ください。

社会福祉協議会

#001 88さいおめでとう



超高齢社会...
世話をする人もされる人も
いろいろありますが、
心がハレハレするような毎日
を過ごせるようにと願い
を込めたタイトルです

きょうも8080!!
ゆかいに生きる
道しるべ

長寿は素晴らしい。
脳の認知機能が衰えると
自分の年齢をたぬ人もいますが、
若いと本気で思うとは元気の源に
なりそうです。
そして実年齢に気付いた時、
自分の長生きぶりを喜べたら
自分も周りの人も楽しいですね。



chiy koubou

協議体ページに連載中の四コマ漫画

協議体って
なに？

協議体は、介護保険制度のもと、全国すべての自治体が行う「生活支援体制整備事業」の取り組みです。

南足柄市において、超高齢社会での住民主体の助け合い活動を行う「協議体」の理解を深めるための説明会が開催されました。

その主旨に賛同した私たち（有志）が「自分たちの協議体」を立ち上げようとしています。

ざっくりと
支え合いのしくみ

協議体って
なに？

限りある介護人材や財源を必要とする人のためにしっかりと活かしながら、より多くの高齢者の健康と生きがいを支える地域のしくみをつくるのが協議体の目的です。

協議体は、各団体や住民が集まり情報や意見を交換することで新たな気づきや取組みが生まれる場となります。

誰もが年齢を重ねても健康で暮せ、地域で孤立することなく暮らせるまちづくりをめざします。

ズバリはなはとこ！



※地域によって団体は異なります

協議体は あ-だ-こ-だ 話し合う会です

みなさんの意見を
吸い上げて
考える場

！ 今までの活動力 互いの良さを
活かす

気づきが深まり
支援の手が広がります

！ 垣根を越えた集まり



どう暮らす？、高齢社会

- ・介護保険制度は大丈夫？
- ・高齢者に多い認知症などの予防法は？
- ・核家族化、独居世帯の増加の対応法は？

2024年、団塊の世代が後期高齢者となり、地域の高齢化が進んでいます。この様な高齢社会について学び、今後の地域活動を考える場として、下記内容のイベントを企画しました。皆で狩野地域の高齢問題とその対策を考えましょう！



【イベント名】「高齢問題とその対策を考えよう」

【開催日時】11月9日（土）9時～12時

【開催場所】狩野公民館 大ホール

【内容】

① 基調講演：「狩野地域の現状と課題」

講師：奈良県中高齢の介護地域包括支援センター 加藤 浩司 様

② 各地区での活動事例紹介

講師：奈良県社会福祉協議会地域福祉部 稲葉 文香 様

③ 狩野でやりたい活動（討論）

【主催】狩野・元気クラブ

（狩野自治会、狩野福祉会、読書会、民生委員、おたがいさまネット共賛）

地域を良くしたいという同じ目的をもち、自治会ができないイベントを福祉会を含めた「狩野元気クラブ」で協働した経緯が素晴らしいです。意見を出せば実現できるというのは、今後の主体的な動きにつながります。これをじっくりと広げていってください。

土屋さん



狩野

- 世帯数 918世帯
- 自治会加入率 63%
- 高齢化率 34.1%

〈開催までの経緯〉

公民館祭り中止

福祉会・有志による
代替イベント計画チラシ作成
呼びかけ

開催



開催日：令和6年11月9日（土）
参加メンバー：自治会、民生委員、福祉会、老人クラブ、おたがいさまネット、地域住民

〈話し合いで出た主な意見〉

高齢社会の
現状が
わかったみんなで一緒に
何かやりたいね声のかけ合いは
励みになるね麻雀を
やりたいなあ住民同士の
コミュニケーション
不足を感じるよ先行地域へ
視察に行こう！挨拶運動から
始めよう！

広町

広町では友達・広町わくわく広場というサロンがあります。出前講座や認知症予防の取り組みなどに毎月大勢の参加者が集まり、楽しんでいます。今回の協議体を通して、サロンに参加できない人の困りごとに目を向けて話し合うようになりました。

積極的に来ている人はより元気で健康的になりますね。ポイントは来れない人です。いつか元気ではなくなり誰かの支援が必要になることもあります。しっかりと支える仕組みを作ることが重要だと思います。

協議体説明会を開催しましたが、別の講習会と比べて参加者は少なかったです。堅苦しいような感じを無くし、リラックスした“井戸端会議”のような協議体”にすると良いのではないかと思います。

最初は少なかったとしても、気づいた人が誘う、誘われた人がまた気づくという形でだんだん裾野が広がってくると思います。

台河原

南アルプス市ではサッカークラブや子育てサロンでチラシを配り、大勢集まったところもあります

土屋さん



駒形新宿

- 世帯数 276世帯
- 自治会加入率 50%
- 高齢化率 33.3%

〈開催までの経緯〉

有志による
呼びかけチラシ
作成
回覧

開催

開催日：令和6年11月25日（月）
参加者：自治会、民生委員、福祉会、老人クラブ、地域住民

〈話し合いで出た主な意見〉

移送の問題は
ついて話し合いたいとまが
活動すること
大切ですね広報活動
にも力を
入れていき
たいなあ

チラシは広めていくのに有効です。富士宮市では若いYouTuberが協議体活動の動画を作った地域もあります。若い皆さんが協力してくれると様々なアイデアが生まれるのでぜひ広げてください。

土屋さん



日影

- 世帯数 453世帯
- 自治会加入率 45%
- 高齢化率 33.9%

〈開催までの経緯〉

自治会長による呼びかけ

開催

開催日：令和6年11月22日（金）
参加メンバー：自治会、民生委員、福祉会、老人クラブ、地域住民

〈話し合いで出た主な意見〉

道中にベンチがあれば
コミュニケーションが
生まれるかもしれない一人暮らしの人は
孤独を感じて
いるのかな？自治会未加入の
人にどうやって
呼びかけたら
いいだろう...

高齢を理由に自治会を退会する人は実際は困っていることが多いです。そこへ協議体が動き出すと支援の手が届きます。ベンチは富士宮市でも地域の中にあるアルミ工場に寄付を依頼し設置。そこが地域の方の居場所になりました。これは既に協議体の立派な活動ですね。

土屋さん

おたがいさまネットから行方不明に協議体の意義を感じました

講師：一般社団法人「ミニミニネットワーク」代表理事 土屋幸己氏

「支えあいの地域づくりと協議体」
—生活支援体制整備事業—

令和6年12月19日に、地域支えあいフォーラムが開催されました。土屋先生の講演内容については6、7ページに掲載します。ここではフォーラムで発表された地域の事例を紹介いたします。

